

ビオトープ・イタンキ通信 第7号

NPO法人 ビオトープ・イタンキ in 室蘭 2015年10月1日

NPO 法人 ビオトープ・イタンキ in 室蘭では「ホテル再び、人にやさしい街・室蘭」を合い言葉にビオトープ作りを進めています。原始のままの海岸線、鳴り砂の浜に続く草原の一角に、今は失われてしまった湿地を復元し、子供たちが生き物と触れ合える場の再生を目指しています。

◆2015年の自然体験学習

例年、ビオトープ・イタンキにおける自然体験学習は5月から始まり、6月と7月に参加のピークを迎え、9月でほぼ終わります。今年も5月に2校の自然体験学習を受け入れ順調にスタートしましたが、その後ビオトープ・イタンキ周辺地域でもドクガが大発生したため、6月と7月に

予定されていた自然体験学習が相次いで中止・延期となってしまいました。

ドクガ被害の心配も無くなった夏休み明け、海陽小学校による自然体験学習が8月25日と9月8日にありました。海陽小学校はビオトープ・イタンキから近いこともあり、例年、自然体験学習を積極的に実施しています。



海陽小学校の自然体験学習

水位が回復した池へと入り、トミヨ、マドジョウ、コオイムシ、ヤゴ、ミズカマキリなど、中には水生のヒル（人の血は吸わないナミイシビル）を捕まえている子どももいました。

草地の方でも昆虫採集に興味のある子ども達が網を振り回してモンキチョウ、アキアカネなどを捕まえていましたが、網の使い方に慣れていない子ども達も多く、先生やNPO法人会員から採集の手ほどきを受けながら必死になって追いかけていました。ほとんどの子ども達が何かしらの生物を捕まえて観察し、自然に親しんだ体験学習となりました。

この経験が自然環境や生物多様性の理解の礎になってくれることと期待しています。

この経験が自然環境や生物多様性の理解の礎になってくれることと期待しています。

今年の自然体験学習参加7団体の内訳

5月22日	八丁平小学校6年生	8人
5月27日	海陽小学校3年生	64人
6月30日	本輪西小学校5年生	25人
7月14日	白鳥台小学校3年生	23人
8月25日	海陽小学校2年生	70人
9月8日	海陽小学校1年生	70人
9月17日	ほくと保育園 園児	56人



雨の中の本輪西小学校による自然体験学習